

令和4年4月27日 メルボルン交流抄

サーフィンの聖地ベルズ・ビーチ

今回ご紹介するのは女子プロ・サーフィン界の若手トップ・アスリートであり、昨年の東京オリンピック銅メダリストの都筑有夢路（つづき あむろ）さんです。

今年2022年のイースター休みの際にメルボルンから車で1時間強のサーファーの街トーキーに行ってきました。以前（2021年7月15日交流抄で）紹介した1964年東京オリンピック水泳銅メダリストのピーター・ドーク氏ご夫妻のご厚意に預かり、トーキーのご自宅に夫妻で泊めていただきました。トーキーの近くのベルズ・ビーチは世界的に有名なサーフィンの聖地。ピーターから、イースターの満月の頃は潮が満ちてとても良い波がたつと説明を受けて、ワクワクしながら次の日を迎えました。

翌朝、有夢路さんのマネージャーでもあるお母さんと待ち合わせ。トーキーから空いていれば10分のところ、皆ワールド・サーフ・リーグの試合を見にいく人々の車で大渋滞。やっとの思いでベルズ・ビーチに到着。世界のトップ・サーファーが集まり、まるでお祭のような賑わい。有夢路さんはこの日は試合はなく、一緒に観戦。メダリストから、いろいろとサーフィンの試合の面白さや見所を教えてくださいました。非常に気さくな方で、素人の質問にも丁寧に答えていただきました。勝負の場が波の上であり、いかに自然に左右されるスポーツかということが少しわかったような気がしました。対戦する相手との駆け引き、限られた時間内の勝負、奥が深い。初めてのサーフィン観戦ですっかりその面白さに魅了されました。



また、この日は一日に2人の東京オリンピック・メダリストに会うという贅沢な日でした。



その数日後、次の遠征に向かわれる忙しい中、メルボルンに立ち寄られた有夢路さん親子を公邸での夕食にお招きしました。秋冬をテーマにした本格的な和食のコースを楽しんでもらいました。お二人からは、いろいろとこれまでの苦労話やトップを目指す意気込みを伺いました。有夢路さんはビクトリア州のベルズ・ビーチがとても気に入っておられるとのこと。また、来年のイースターの頃、ベルズ・ビーチでお会いしましょう。皆で応援に行きます。頑張ってください。

島田順二